

アクションプラン評価方法の概要

ごみ減量アクションプランのターゲットである「生ごみ 3,000 トン」「紙類 2,500 トン」「事業系ごみ 5,000 トン」「協働・パートナーシップ」の4項目について、総合的に評価をしていただきます。もう一つのターゲットである「収集後資源化」については、新たな施設の稼働に合わせ実施することとなっているため、評価対象から外します。

<判断材料>

① 2018年度ごみ量（資料3）

② 2018年度アクションプラン進捗点検票（資料4）

①でごみ量全体の推移や、全体像を把握していただき、その上で②で個々の取り組み、目標値に対する実績、審議会の意見への対応状況をご確認いただきます。

これらの材料を基に、上記の4つのターゲットについての取組過程への評価及び総合的な評価を行っていただきます。

<評価基準>

【A】 ⇒ 大幅に取り組みが進んでいる（引き続き取り組む）

【B】 ⇒ 取り組みは進んでいる（もう少し取り組みを強化し進める）

【C】 ⇒ 改善（取り組み内容を検証し、効果的に進めるために、施策内容、実施回数、施策のスケジュール等の修正が必要）

【D】 ⇒ 新たな取り組みを検討し進めていく必要がある

<評価シート>

「別紙1」の評価シートを使用し、評価していただきます。

ターゲットごとに、評価基準に基づき【A】、【B】、【C】、【D】で評価を記載してください。また、評価理由を評価理由欄へ記載していただくとともに、提案事項がありましたら「提案欄」への記載をお願いします。

<評価シートのスケジュール>

① 第1回審議会終了後、記載していただきます。

② 5月10日（金）までに、メールまたはFAXで事務局までお送りください。（メールをお持ちの方は、評価シートをお送りします）

③ 各委員の評価シートは事務局で整理し、次回（7月11日）の第2回審議会の資料とします。

<審議会の評価結果について>

皆様からいただいた評価シートを集約し、第2回審議会において、審議会としての評価及び意見をまとめます。結果は、今後の施策に活かしていきます。